

学科 学年	1 年全	科目 分類	国語基礎 Basic Japanese	講義 必修	23通年 履修単位 2	学習教育 目標 4	担当	坂本 信男 Sakamoto nobuo
概要	<p>近現代の文章（論説・文芸作品・韻文、その他）を読み、未知の世界に触れるとともに、日本近代文化の成り立ちや、様々な表現・表記の基礎知識を学ぶ。 言葉の仕組み・表記などについて自立的に探る方法を指導し、且つ基本的な情報作成（作文、その他のプレゼンテーション等）の方法・態度を学ぶ。</p>							
科目目標 (到達目標)	<p>言葉や表現の確実な理解から、背景にある思想・時代思潮・心情等の由来について、広く思考し・推測する態度を養う。多くのテキストに触れて、種々の発想・表現語彙・語法の習得機会を提供し、実践的に考え、発想し、情報作成する能力を養う。 現在の自分を成り立たせている、感情・思考・言語について、その大本を見直す機会を作る。</p>							
教科書 器材等	<p>プリントテキスト配布。(学生の学力状況などに柔軟に対応し、より適正なテキストに差し換えることを含め、十全な指導を図る予定。)</p>							
評価基準と方法	<p>試験(8.5割) 定期、+ 小試験・作文・レポート(1.5割)</p>							
関連科目								
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		日本語を学ぶとは						
第2回		「言葉・表記・論理・文章」 その仕組みと、如何に学ぶかについて						
第3回		「四拾七字」とは・・・日本語・音と文字と意味について						
第4回								
第5回		「かなづかひ」の本質						
第6回		井伏鱒二 「屋根の上のサワン」 青年の心・三部作						
第7回								
第8回								
第9回								
第10回		「厄除け詩集」 (漢詩入門)						
第11回		・・・作者と社会(解説)						
第12回		作文・レポートの基本 (指導・解説)						
第13回		「実用国語」演習(補助教材の学び方) (この後逐次)						
第14回								
第15回	×	前期末試験						
第16回		宮澤賢治 初期「寓話」から						
第17回								
第18回								
第19回		志賀直哉 「赤西蠣太」						
第20回								
第21回								
第22回								
第23回		・・・作品背景						
第24回		志賀直哉 「小品五つ」						
第25回								
第26回		芥川龍之介「羅生門」						
第27回								
第28回								
第29回								
第30回	×	日本の近代 作者と時代、周辺の人々 「今昔物語集」について(解説)						
オフィスアワー	木曜除く全週日							
授業アンケート への対応	近年の諸問題を、可及的にimproveする。(板書の削減整理等)							
備考								
更新履歴	20110320 新規							